

# ～卒業生対談 2017 春～

約 300 名の寮生が満期退寮日である 3 月 7 日までに WISH から羽ばたいていきました。卒業する約 300 人の中から、今回は 2 人にご参加いただきました！同じく卒業生であるライター水上と担当 RA 大野がそれぞれじっくりと対談をしました！WISH での思い出などたくさんお聞きしました！！



## 王安安くん（法学部 2 年、中国出身）

### 【Q：WISH での思い出は？】

SI プログラムを通して学力が上がったことや、コミュニケーション能力が上がりました。また、様々なバックグラウンドを持ち、視野も広がったことも実感しました。そして、キャリアウィークで優秀な社会人の方たちの話を聞くことによって、自分のキャリアにも良い影響が得ることができました。すごく良かった思い出がある反面、環境はいいけど、換気口で生活音が聞こえしまうことがあまり好きでなかったですね。

### 【Q：自分が大事にしている価値観はありますか？】

「**どんな人種でもみんな平等**」で。こういう考え方がないと自分の国の人としか交流できません。まず相手を尊重すること、そして心を開いてコミュニケーションを取りあえば互いに平和に暮らせると考えています。

### 【Q：在寮生に向けて何か一言ください！】

国際交流は WISH の設立目的の 1 つとしてあるのに、実際はあまり行われていません。それは偏見をお互い持っているからではないかと考えています。平等な立場に立って国際交流をすること。グローバル社会が進む中でこういう能力は必要になります。

## 辻明希さん（文学部 2 年、神戸市出身）

### 【Q：WISH での思い出は？】

大学が始まる前に、いろいろな人と出会えたことで寮生活への不安が緩和されました。また、様々な環境で育った人がいて、その人たちと共同生活するということを知って安心できました。友達とは毎月のイベントでもっと仲良くなれたと思うし、WISH だからこそ、国籍・性別・学年を超えた付き合いができました。「**私の常識は常識じゃない**」ということやほかの人のことを考えながら生活するということは、一種の社会勉強になりました。しかし、共同生活特有の問題であったり、壁がやはり薄かったりしてプライバシーが筒抜け状態だったということは少し生活しづらかった部分がありました。

### 【Q：今後の自分へ一言お願いします！】

寮の中でいろいろな人と触れ合ってきましたが、これから 1 人暮らしで新たな出会いがあります。ちょっとした自立を WISH で精神的にも生活面的にも経験したので、これを生かして本格的に 1 人暮らしを頑張っていきます。



今回、王君と辻さんにご協力いただきました。本当にお忙しい中、ありがとうございました！

対談の一部を記事にさせていただきました。WISH は 2 年しか住むことができませんが、思いっきり楽しんで思い出深い寮生活にしてくださいね！さてこの記事をもちまして、私がライターとしての活動するのも最後となりました。これまで短い間でしたが、本当に本当ありがとうございました！（水上）